

株式会社ミカサ

今回ご紹介する事業者様は、MIKASAのブランド名で知られ、競技用ボールの大手ブランドとして有名な株式会社ミカサ様です。

2023年9月16日から日本で開催される「ワールドカップバレー2023」で公式試合球として使用されます。是非皆様で「龍神 NIPPON & 火の鳥 NIPPON」を応援しましょう。



代表取締役社長 佐伯 祐二

代表あいさつ

私たちの持つ強みは、工業用ゴム製品の分野でも生かされ、船舶およびポンプ関連分野においても確固たる地位を築きました。中でも水漏滑軸受は環境にもやさしい技術として、日本国内だけでなく海外からも高い評価を受けています。今では、競技用ボールを中心としたスポーツ用品と、工業用ゴム製品はミカサの事業の大きな2つの柱となっています。そして、創業100周年という節目を機に、100年に向けて、私たちは、この「技術力」と「人間力」という財産を見つめ直し、既存の2つの事業分野でより高まるニーズに応えることにはもちろん、時代の新たなニーズに対応すべく「第三の柱」となる事業を構築しています。時代はこれまでとは比較にならない速さで変化しています。私たちの強みを「変化」に融合させ、ミカサは新たな“価値”の創造に向けて邁進します。

代表取締役社長 佐伯 祐二



Ball / Sporting Goods

ボール・スポーツ用品事業部

スポーツ&ウェルネスを通して世界に笑顔を広げたい

バレーボール・サッカーボール・バスケットボール・ハンドボール・ドッジボール・水球等、各種競技用ボールを中心としたスポーツ用品を製造・販売しています。特にバレーボールは、1964年の東京オリンピック以降、公式球として半世紀以上採用され、現在も国際バレーボール連盟(FIVB)が主催する。2028年までのバレーボール及びビーチバレーボール大会で唯一の公式試合球として使用されることが決定しています。世代や国籍を超えて、競技や運動から生まれる喜びや充実感を届けたいです。それが [MIKASA] ブランドの責任と目標です。

Industrial Products

工業用品

社会を支え地球環境を守る、受け継がれてきた技術力

船舶及びポンプに使用される水中軸受、船舶推進用ゴム巻き、製鉄・製紙・樹脂版等のラインに使用されているゴムロール等の工業用ゴム製品を製造しています。特に油を使わない水潤滑による水中軸受は、環境にやさしい製品として世界的に評価を頂き、船舶用として大型フェリー・艦艇・巡視船・貨物船・漁船等に使用され、ポンプ用としても、原子力・火力発電所の冷却水用並びに水道局・下水道局の取水、治水用の排水ポンプ等、幅広く導入頂いています。社会のインフラを支える技術力は私たちの原動力であり、これからも大切に継承して参ります。



※ 水球新デザイン発表

<https://mikasports.co.jp/newsrelease/14473/>



技術が持つ可能性を深求し、新たな“価値”の創造を目指して

2017年、私たちミカサは創業100周年を迎えました。広く認知いただいている [MIKASA] ブランド確立のきっかけは、先達の方々のボール開発の熱意に端を発すると思います。第二次世界大戦以前の1932(昭和7)年、ミカサのルーツのうちの社にて「隠い目のないゴムボール」が開発されました。やがてこのボールが、日本における中堅ボールのルーツとなり、広島の企業である私たちが「バレーボールの [MIKASA] として世界に知られるメーカーへと導くことになりました。その原動力となったのは、創業から脈々と受け継がれ、求められるニーズに応えるために磨き続けてきた「技術力」と、それを育てて生み出し、さらに広く世界へ広めよう・発信しようとして進んできた「人間力」に他ならないと思います。



※ ビーチバレー新デザイン発表

<https://mikasports.co.jp/newsrelease/15125/>

